

CHAPTER 1 The Power of Poetry — Words That Give Us the Power to Change the World (pp. 8-15) CAN-DO リスト

1. 内容理解 (Content Construction)

- ・アマンダ・ゴーマンさんがなぜ詩を書くのか、詩を通して何を表現しているのかを理解することができる。
- ・詩がこれまでどのような影響を与えてきたのか、これからどのようなものを書きたいかという筆者のメッセージを読むことで、表現することの大切さについて考える。

2. 言語リソース (Language Resources)

2.1 文法 (Grammar)

- ・関係代名詞 what
- ・so that
- ・no matter what

2.2 語彙 (Vocabulary)

- ・次の語彙をコミュニケーションにおいて使うことができる (発信語彙)。
名詞: democracy, protest
動詞: terrify, stumble, irritate
形容詞: artistic
- ・上記の語彙に加え、次の語彙の意味を理解することができる (受容語彙)。
名詞: impediment, mumble, accessibility, barrier, rectangle, pulse, boulder
動詞: descend, jumble, hew
形容詞: phenomenal, poetic, daring
- ・プレゼンの流れに関連する語彙をネットワークとして整理し、意味を理解することができる。【VN】

2.3 慣用表現 (Formulas)

- ・次の慣用表現の意味を理解し、使うことができる。
stand on one's shoulders, stand for ..., roll over ...

3. 5領域におけるタスク・ハンドリング (Task-Handling in Five Domains)

3.1 聞くこと (Listening Domain)

- ・本文中の語彙・慣用表現の用法や意味を十分理解し、正確に内容を聞き取ることができる。【本文】
- ・本文の内容に関する英文を聞き、必要な情報を適切に取捨選択・整理しながら解答することができる。【リスニングテスト (データ)】
- ・理解が難しい箇所を、文脈や背景知識を活用して推測し、メモを取ったりするなど、粘り強く聞くことができる。【リスニングの回数】

3.2 読むこと (Reading Domain)

- ・本課で扱う文法・語彙を理解・運用して読むことができる。【TF 問題・定期テスト (データ)】
- ・アマンダ・ゴーマンさんがなぜ詩を書くのか、詩を通して何を表現しているのかを読み取ることができる。【CYC】
- ・理解が難しい箇所を文脈や背景知識を活用して積極的に推測するなど、粘り強く読むことができる。【音読の回数】

3.3 話すこと (発表) (Spoken Production Domain)

- ・本文の内容に関連した質問に、自分の意見を発表することができる。【BYR】
- ・自分の言葉で本文の内容を要約し、発表することができる。
- ・これまでに出会った最も大切な言葉について、自分の表現や身振りなどを使って粘り強く口頭で発表することができる。【MIY TASK2-STEP4】

3.4 話すこと (やり取り) (Spoken Production Domain)

- ・本課で扱う文法・語彙・慣用表現の用法や意味を理解し、ペアやグループでの口頭でのやり取りにおいて正確に用いることができる。
- ・これまで出会った大切な言葉について、ペアで話し合うことができる。【MIY TASK2-STEP2】
- ・文法のポイントを的確に押さえ、自分の表現や身振りなどを使って相手に内容を十分伝えるなど、粘り強くやり取りすることができる。【FS】

3.5 書くこと (Writing Domain)

- ・EIJ Text 中の重要表現を書いて覚えることができる。
- ・プレゼンの流れに関する語句を理解しながら、穴埋めを行うことができる。【VN】
- ・これまで出会った最も大切な言葉について、パラグラフを書くことができる。【MIY TASK2-STEP3】
- ・本文の一節や本文に関する質問について、繰り返し推敲をしながら粘り強く自分の意見を書くことができる。

【EY】

4. 学習への向き合い方と学習管理 (Attitude & Learning Management)

- ・教師の発問に対して積極的に反応している。
- ・授業中に大きな声で気持ちを込めて音読をしている。
- ・本課で学習した文法や語彙・慣用表現を、コミュニケーションにおいて積極的に活用しようとしている。
- ・「プレゼンの流れ」に関する語彙や慣用表現を自分で調べ、語彙力の拡充を図っている。
- ・本課の新出語彙・表現を繰り返し読んだり書いたりして、定着を図っている。
- ・本課の全文を10回以上音読している。
- ・ペアワークやグループワークに積極的に参加し、責任をもって自分の役割を果たしている。
- ・授業の振り返り（リフレクション）を行い、学習の成果と課題を明確にしている。
- ・PDCA (Plan-Do-Check-Action) サイクルを通して計画的に学習を進めている。
- ・疑問点を放置せず、先生に質問をしたり、学習書を活用したりして解決している。

略語: VN = Vocabulary Networking; CYC = Check Your Comprehension; BYR = Before You Read; MIY = Make It Yours; FS = Focused Sentences; EY = Express Yourself

CHAPTER 2 What Makes a Good Life? — Lessons from the Longest Study on Happiness (pp. 17-23) CAN-DO リスト

1. 内容理解 (Content Construction)

- ・「よい人生とはどういう人生か」という普遍的テーマについての研究結果を紹介するスピーチを読み取ることができる。
- ・よりよい人生を送るには他者とのよい関係が重要であるという研究結果を知ること、自他の敬愛と協力を重んずる態度を築くことができる。

2. 言語リソース (Language Resources)

2.1 文法 (Grammar)

- ・ not A but B
- ・ not only A but also B

2.2 語彙 (Vocabulary)

- ・ 次の語彙をコミュニケーションにおいて使うことができる (発信語彙)。
名詞: sophomore
動詞: unfold, function, commit
形容詞: complicated, lifelong
- ・ 上記の語彙に加え、次の語彙の意味を理解することができる (受容語彙)。
名詞: hindsight, bricklayer, midlife, midst
動詞: isolate, divorce, fare
形容詞: close-knit
- ・ 感情に関連する語彙をネットワークとして整理し、意味を理解することができる。【VN】

2.3 慣用表現 (Formulas)

- ・ 次の慣用表現の意味を理解し、使うことができる。
work out, What if ...?, count on ...

3. 5領域におけるタスク・ハンドリング (Task-Handling in Five Domains)

3.1 聞くこと (Listening Domain)

- ・ 本文中の語彙・慣用表現の用法や意味を十分理解し、正確に内容を聞き取ることができる。【本文】
- ・ 本文の内容に関する英文を聞き、必要な情報を適切に取捨選択・整理しながら解答することができる。【リスニングテスト (データ)】
- ・ 理解が難しい箇所を、文脈や背景知識を活用して推測し、メモを取ったりするなど、粘り強く聞くことができる。【リスニングの回数】

3.2 読むこと (Reading Domain)

- ・ 本課で扱う文法・語彙を理解・運用して読むことができる。【TF 問題・定期テスト (データ)】
- ・ 「よい人生とはどういう人生か」という普遍的テーマについて、どういう研究をして何がわかったかを読み取ることができる。【CYC】
- ・ 理解が難しい箇所を文脈や背景知識を活用して積極的に推測するなど、粘り強く読むことができる。【音読の回数】

3.3 話すこと (発表) (Spoken Production Domain)

- ・ 本文の内容に関連した質問に、自分の意見を発表することができる。【BYR】
- ・ 自分の言葉で本文の内容を要約し、発表することができる。
- ・ これまでの人生における重要な物事について、自分の表現や身振りなどを使って粘り強く口頭で発表することができる。【MIY TASK2-STEP4】

3.4 話すこと (やり取り) (Spoken Production Domain)

- ・ 本課で扱う文法・語彙・慣用表現の用法や意味を理解し、ペアやグループでの口頭でのやり取りにおいて正確に用いることができる。
- ・ これまでの人生における重要な物事について、ペアで話し合うことができる。【MIY 2】
- ・ 文法のポイントを的確に押さえ、自分の表現や身振りなどを使って相手に内容を十分伝えるなど、粘り強くやり取りすることができる。【FS】

3.5 書くこと (Writing Domain)

- ・ EIJ Text 中の重要表現を書いて覚えることができる。
- ・ 感情に関する語句を理解しながら、穴埋めを行うことができる。【VN】
- ・ これまでの人生における重要な物事について、パラグラフを書くことができる。【MIY 3】
- ・ 本文の一節や本文に関する質問について、繰り返し推敲をしながら粘り強く自分の意見を書くことができる。

【EY】

4. 学習への向き合い方と学習管理 (Attitude & Learning Management)

- ・教師の発問に対して積極的に反応している。
- ・授業中に大きな声で気持ちを込めて音読をしている。
- ・本課で学習した文法や語彙・慣用表現を、コミュニケーションにおいて積極的に活用しようとしている。
- ・「感情」に関する語彙や慣用表現を自分で調べ、語彙力の拡充を図っている。
- ・本課の新出語彙・表現を繰り返し読んだり書いたりして、定着を図っている。
- ・本課の全文を10回以上音読している。
- ・ペアワークやグループワークに積極的に参加し、責任をもって自分の役割を果たしている。
- ・授業の振り返り（リフレクション）を行い、学習の成果と課題を明確にしている。
- ・PDCA (Plan-Do-Check-Action) サイクルを通して計画的に学習を進めている。
- ・疑問点を放置せず、先生に質問をしたり、学習書を活用したりして解決している。

略語: VN = Vocabulary Networking; CYC = Check Your Comprehension; BYR = Before You Read; MIY = Make It Yours; FS = Focused Sentences; EY = Express Yourself

CHAPTER 3 Mindset — Changing the Way You Think to Fulfill Your Potential (pp. 25-31)

CAN-DO リスト

1. 内容理解 (Content Construction)

- ・出来事をどう意味づけするかによって生き方が変わるというメッセージを読み取る。
- ・困難なときこそ、自分を成長させることができるチャンスであるという筆者のメッセージを読み、困難に立ち向かう態度を築くことができる。

2. 言語リソース (Language Resources)

2.1 文法 (Grammar)

- ・前置詞＋関係代名詞
- ・Why＋動詞の原形～？

2.2 語彙 (Vocabulary)

- ・次の語彙をコミュニケーションにおいて使うことができる (発信語彙)。
名詞: being, motivation
動詞: accomplish, cultivate, cherish
形容詞: frustrated
副詞: vividly, aside
- ・上記の語彙に加え、次の語彙の意味を理解することができる (受容語彙)。
名詞: mindset, urgency, dose, stance, stake, trait, aptitude, temperament, self-esteem
動詞: clap, provoke, foresee, thrive
形容詞: midterm, judgmental, consuming, dumb
副詞: profoundly
- ・ものの見方に関連する語彙をネットワークとして整理し、意味を理解することができる。【VN】

2.3 慣用表現 (Formulas)

- ・次の慣用表現の意味を理解し、使うことができる。
sort of ..., aside from ..., at stake, call on ..., every which way, seek out ...

3. 5領域におけるタスク・ハンドリング (Task-Handling in Five Domains)

3.1 聞くこと (Listening Domain)

- ・本文中の語彙・慣用表現の用法や意味を十分理解し、正確に内容を聞き取ることができる。【本文】
- ・本文の内容に関する英文を聞き、必要な情報を適切に取捨選択・整理しながら解答することができる。【リスニングテスト (データ)】
- ・理解が難しい箇所を、文脈や背景知識を活用して推測し、メモを取ったりするなど、粘り強く聞くことができる。【リスニングの回数】

3.2 読むこと (Reading Domain)

- ・本課で扱う文法・語彙を理解・運用して読むことができる。【TF 問題・定期テスト (データ)】
- ・出来事をどう意味づけするかによって生き方が変わるというメッセージを読み取ることができる。【CYC】
- ・理解が難しい箇所を文脈や背景知識を活用して積極的に推測するなど、粘り強く読むことができる。【音読の回数】

3.3 話すこと (発表) (Spoken Production Domain)

- ・本文の内容に関連した質問に、自分の意見を発表することができる。【BYR】
- ・自分の言葉で本文の内容を要約し、発表することができる。
- ・ディスカッションに参加してグループとしての結論へ到達することができる。【MIY TASK2-S3】

3.4 話すこと (やり取り) (Spoken Production Domain)

- ・本課で扱う文法・語彙・慣用表現の用法や意味を理解し、ペアやグループでの口頭でのやり取りにおいて正確に用いることができる。
- ・本文の内容に関連して与えられたテーマについて、ペアでロールプレイをして話し合うことができる。【MIY 2】
- ・文法のポイントを的確に押さえ、自分の表現や身振りなどを使って相手に内容を十分伝えるなど、粘り強くやり取りすることができる。【FS】

3.5 書くこと (Writing Domain)

- ・EIJ Text 中の重要表現を書いて覚えることができる。
- ・ものの見方に関する語句を理解しながら、穴埋めを行うことができる。【VN】
- ・ロールプレイで、質問の答えを書くことができる。【MIY 3】
- ・本文の一節や本文に関する質問について、繰り返し推敲をしながら粘り強く自分の意見を書くことができる。【EY】

4. 学習への向き合い方と学習管理 (Attitude & Learning Management)

- ・教師の発問に対して積極的に反応している。
- ・授業中に大きな声で気持ちを込めて音読をしている。
- ・本課で学習した文法や語彙・慣用表現を、コミュニケーションにおいて積極的に活用しようとしている。
- ・「ものの見方」に関する語彙や慣用表現を自分で調べ、語彙力の拡充を図っている。
- ・本課の新出語彙・表現を繰り返し読んだり書いたりして、定着を図っている。
- ・本課の全文を10回以上音読している。
- ・ペアワークやグループワークに積極的に参加し、責任をもって自分の役割を果たしている。
- ・授業の振り返り（リフレクション）を行い、学習の成果と課題を明確にしている。
- ・PDCA (Plan-Do-Check-Action) サイクルを通して計画的に学習を進めている。
- ・疑問点を放置せず、先生に質問をしたり、学習書を活用したりして解決している。

略語: VN = Vocabulary Networking; CYC = Check Your Comprehension; BYR = Before You Read; MIY = Make It Yours; FS = Focused Sentences; EY = Express Yourself

CHAPTER 4 The Gut-Brain Connection (pp. 36-45) CAN-DO リスト

1. 内容理解 (Content Construction)

- ・私たちの体内の意外な結びつきについて、科学的な観点で書いた文章を聞いたり読んだりして情報を集めることができる。
- ・腸と脳の関係が、私たちの健康に重要な影響を及ぼしているという事実を知り、健やかな身体と自他を大切にすることを養う。

2. 言語リソース (Language Resources)

2.1 文法 (Grammar)

- ・ come with ~
- ・ 関係代名詞の非限定用法

2.2 語彙 (Vocabulary)

- ・ 次の語彙をコミュニケーションにおいて使うことができる (発信語彙)。
名詞: virus, disturbance, molecule, appetite
動詞: characterize, generate
- ・ 上記の語彙に加え、次の語彙の意味を理解することができる (受容語彙)。
名詞: gut, bacteria, microorganism, microbe, specialty, psychiatry, crack, digestion, metabolism, bowel, diarrhea, asthma, disorder, bloodstream, capability, species, invader, serotonin, sensitivity, hormone, fullness, nausea, database
動詞: inhabit, outnumber, identify, ingest, surpass, reside, empower
形容詞: profound, immune, biological, digestive, lethal, crucial, intestinal, vital, overall, revolutionary, emerging
副詞: conversely, potentially
- ・ 臓器に関連する語彙をネットワークとして整理し、意味を理解することができる。【VN】

2.3 慣用表現 (Formulas)

- ・ 次の慣用表現の意味を理解し、使うことができる。
come with ...

3. 5領域におけるタスク・ハンドリング (Task-Handling in Five Domains)

3.1 聞くこと (Listening Domain)

- ・ 本文およびリスニングパートの語彙・慣用表現の用法や意味を十分理解し、正確に内容を聞き取ることができる。【本文】
- ・ 本文の内容に関する英文を聞き、必要な情報を適切に取捨選択・整理しながら解答することができる。【リスニングテスト (データ)】
- ・ 理解が難しい箇所を、文脈や背景知識を活用して推測し、メモを取ったりするなど、粘り強く聞くことができる。【リスニングの回数】

3.2 読むこと (Reading Domain)

- ・ 本課で扱う文法・語彙を理解・運用して読むことができる。【TF 問題・定期テスト (データ)】
- ・ 私たちの体内の意外な結びつきについて、科学的な観点で書いた文章から情報を正しく読み取ることができる。【CYC】
- ・ 理解が難しい箇所を文脈や背景知識を活用して積極的に推測するなど、粘り強く読むことができる。【音読の回数】

3.3 話すこと (発表) (Spoken Production Domain)

- ・ 本文の内容に関連した質問に、自分の意見を発表することができる。【BYR】
- ・ 自分が作成したグラフィックオーガナイザーをグループ内で見せながら説明をすることができる。【MIY 2】
- ・ 健康を維持してくれる腸の特徴について、自分の表現や身振りなどを使って粘り強く口頭で発表することができる。【MIY 3】

3.4 話すこと (やり取り) (Spoken Production Domain)

- ・ 本課で扱う文法・語彙・慣用表現の用法や意味を理解し、ペアやグループでの口頭でのやり取りにおいて正確に用いることができる。
- ・ これまで出会った大切な言葉について、ペアで話し合うことができる。【MIY TASK2-STEP2】
- ・ 文法のポイントを的確に押さえ、自分の表現や身振りなどを使って相手に内容を十分伝えるなど、粘り強くやり取りすることができる。【FS】

3.5 書くこと (Writing Domain)

- EIJ Text 中の重要表現を書いて覚えることができる。
- 臓器に関する語句を理解しながら、穴埋めを行うことができる。【VN】
- 腸と脳の結びつきや、腸の驚くべき特徴について詳述することができる。【MIY 2】
- 本文の一節や本文に関する質問について、繰り返し推敲をしながら粘り強く自分の意見を書くことができる。【EY】

4. 学習への向き合い方と学習管理 (Attitude & Learning Management)

- 教師の発問に対して積極的に反応している。
- 授業中に大きな声で気持ちを込めて音読をしている。
- 本課で学習した文法や語彙・慣用表現を、コミュニケーションにおいて積極的に活用しようとしている。
- 「臓器」に関する語彙や慣用表現を自分で調べ、語彙力の拡充を図っている。
- 本課の新出語彙・表現を繰り返し読んだり書いたりして、定着を図っている。
- 本課の全文を 10 回以上音読している。
- ペアワークやグループワークに積極的に参加し、責任をもって自分の役割を果たしている。
- 授業の振り返り (リフレクション) を行い、学習の成果と課題を明確にしている。
- PDCA (Plan-Do-Check-Action) サイクルを通して計画的に学習を進めている。
- 疑問点を放置せず、先生に質問をしたり、学習書を活用したりして解決している。

略語: VN = Vocabulary Networking; CYC = Check Your Comprehension; BYR = Before You Read; MIY = Make It Yours; FS = Focused Sentences; EY = Express Yourself

CHAPTER 5 *Wa* “Holy Harmony” (pp. 47-55) CAN-DO リスト

1. 内容理解 (Content Construction)

- ・外国人の視点から日本文化における「和」について考察した文章を読み取る。
- ・筆者の「和」の理解に賛同するかどうかを考えながら読むことで、多様な考えがあることを理解し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養う。

2. 言語リソース (Language Resources)

2.1 文法 (Grammar)

- ・接続詞の後の〈主語+be 動詞〉の省略
- ・A, if not B

2.2 語彙 (Vocabulary)

- ・次の語彙をコミュニケーションにおいて使うことができる (発信語彙)。
名詞: insight, appreciation
動詞: stare, govern, vary
形容詞: cautious, abstract
- ・上記の語彙に加え、次の語彙の意味を理解することができる (受容語彙)。
名詞: tribe, cultivation, seedling, interpretation, reverence, ethics, legacy, precedence, supplier, tactic, handicraft, tweet
動詞: permeate, incorporate, oversimplify, withdraw, compliment
形容詞: ingrained, implicit, formidable, viral
副詞: deliberately
- ・言語に関連する語彙をネットワークとして整理し、意味を理解することができる。【VN】

2.3 慣用表現 (Formulas)

- ・次の慣用表現の意味を理解し、使うことができる。
settle in ..., in contrast to ..., take away ..., make a point, at large, go viral, put another way

3. 5領域におけるタスク・ハンドリング (Task-Handling in Five Domains)

3.1 聞くこと (Listening Domain)

- ・本文中の語彙・慣用表現の用法や意味を十分理解し、正確に内容を聞き取ることができる。【本文】
- ・本文の内容に関する英文を聞き、必要な情報を適切に取捨選択・整理しながら解答することができる。【リスニングテスト (データ)】
- ・理解が難しい箇所を、文脈や背景知識を活用して推測し、メモを取ったりするなど、粘り強く聞くことができる。【リスニングの回数】

3.2 読むこと (Reading Domain)

- ・本課で扱う文法・語彙を理解・運用して読むことができる。【TF 問題・定期テスト (データ)】
- ・外国人の視点では、日本文化の「和」についてどのように考察しているのかを読み取ることができる。【CYC】
- ・理解が難しい箇所を文脈や背景知識を活用して積極的に推測するなど、粘り強く読むことができる。【音読の回数】

3.3 話すこと (発表) (Spoken Production Domain)

- ・本文の内容に関連した質問に、自分の意見を発表することができる。【BYR】
- ・自分の言葉で本文の内容を要約し、発表することができる。
- ・海外からの訪問者に話すつもりで、自分の表現や身振りなどを使って短い発表をすることができる。【MIY TASK1-STEP3, TASK2-STEP3】

3.4 話すこと (やり取り) (Spoken Production Domain)

- ・本課で扱う文法・語彙・慣用表現の用法や意味を理解し、ペアやグループでの口頭でのやり取りにおいて正確に用いることができる。
- ・本文の内容に関する質問の答えを考えて、ペアで話し合うことができる。【MIY TASK2-STEP1, TASK3】
- ・文法のポイントを的確に押さえ、自分の表現や身振りなどを使って相手に内容を十分伝えるなど、粘り強くやり取りすることができる。【FS】

3.5 書くこと (Writing Domain)

- ・EIJ Text 中の重要表現を書いて覚えることができる。
- ・言語に関する語句を理解しながら、穴埋めを行うことができる。【VN】
- ・本文の内容に関する質問の答えを考えることができる。【MIY TASK1】
- ・本文の一節や本文に関する質問について、繰り返し推敲をしながら粘り強く自分の意見を書くことができる。

【EY】

4. 学習への向き合い方と学習管理 (Attitude & Learning Management)

- ・教師の発問に対して積極的に反応している。
- ・授業中に大きな声で気持ちを込めて音読をしている。
- ・本課で学習した文法や語彙・慣用表現を、コミュニケーションにおいて積極的に活用しようとしている。
- ・「言語」に関する語彙や慣用表現を自分で調べ、語彙力の拡充を図っている。
- ・本課の新出語彙・表現を繰り返し読んだり書いたりして、定着を図っている。
- ・本課の全文を10回以上音読している。
- ・ペアワークやグループワークに積極的に参加し、責任をもって自分の役割を果たしている。
- ・授業の振り返り（リフレクション）を行い、学習の成果と課題を明確にしている。
- ・PDCA (Plan-Do-Check-Action) サイクルを通して計画的に学習を進めている。
- ・疑問点を放置せず、先生に質問をしたり、学習書を活用したりして解決している。

略語: VN = Vocabulary Networking; CYC = Check Your Comprehension; BYR = Before You Read; MIY = Make It Yours; FS = Focused Sentences; EY = Express Yourself

CHAPTER 6 The Scientific Method – Seeking the Truth (pp. 57-65) CAN-DO リスト

1. 内容理解 (Content Construction)

- ・科学的な研究方法の基盤となったガリレオの考え方の意義についての論述などを読み取る。
- ・科学者たちが残してきた功績を読むことで、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養う。

2. 言語リソース (Language Resources)

2.1 文法 (Grammar)

- ・ There's no doubt that ...
- ・ This is not to say that ...

2.2 語彙 (Vocabulary)

- ・ 次の語彙をコミュニケーションにおいて使うことができる (発信語彙)。
名詞: revision, prediction, certainty
形容詞: academic
- ・ 上記の語彙に加え、次の語彙の意味を理解することができる (受容語彙)。
名詞: legend, exaggeration, hypothesis, procedure, induction, characteristic, revolution, optics, secrecy
形容詞: so-called, faulty, Viennese, testable, Arab, Austrian
副詞: ultimately
- ・ 学問に関連する語彙をネットワークとして整理し、意味を理解することができる。【VN】

2.3 慣用表現 (Formulas)

- ・ 次の慣用表現の意味を理解し、使うことができる。
have bearing on ..., stand up to ..., consist in ...

3. 5領域におけるタスク・ハンドリング (Task-Handling in Five Domains)

3.1 聞くこと (Listening Domain)

- ・ 本文中の語彙・慣用表現の用法や意味を十分理解し、正確に内容を聞き取ることができる。【本文】
- ・ 本文の内容に関する英文を聞き、必要な情報を適切に取捨選択・整理しながら解答することができる。【リスニングテスト (データ)】
- ・ 理解が難しい箇所を、文脈や背景知識を活用して推測し、メモを取ったりするなど、粘り強く聞くことができる。【リスニングの回数】

3.2 読むこと (Reading Domain)

- ・ 本課で扱う文法・語彙を理解・運用して読むことができる。【TF 問題・定期テスト (データ)】
- ・ 科学的な研究方法の基盤となったガリレオの考え方の意義についての論述を読み取ることができる。【CYC】
- ・ 理解が難しい箇所を文脈や背景知識を活用して積極的に推測するなど、粘り強く読むことができる。【音読の回数】

3.3 話すこと (発表) (Spoken Production Domain)

- ・ 本文の内容に関連した質問に、自分の意見を発表することができる。【BYR】
- ・ 自分の言葉で本文の内容を要約し、発表することができる。
- ・ 有名な科学者について、自分の表現や身振りなどを使って粘り強く口頭で発表することができる。【MIY TASK2-STEP4】

3.4 話すこと (やり取り) (Spoken Production Domain)

- ・ 本課で扱う文法・語彙・慣用表現の用法や意味を理解し、ペアやグループでの口頭でのやり取りにおいて正確に用いることができる。
- ・ 科学者のリストから 1 人選び、その人物の情報をインターネットなどで集め、ペアで説明し合うことができる。【MIY TASK2-STEP1】
- ・ 文法のポイントを的確に押さえ、自分の表現や身振りなどを使って相手に内容を十分伝えるなど、粘り強くやり取りすることができる。【FS】

3.5 書くこと (Writing Domain)

- ・ EIJ Text 中の重要表現を書いて覚えることができる。
- ・ 学問に関する語句を理解しながら、穴埋めを行うことができる。【VN】
- ・ 有名な科学者を 1 人選び、情報を集めて伝記を書くことができる。【MIY 3】
- ・ 本文の一節や本文に関する質問について、繰り返し推敲をしながら粘り強く自分の意見を書くことができる。【EY】

4. 学習への向き合い方と学習管理 (Attitude & Learning Management)

- ・教師の発問に対して積極的に反応している。
- ・授業中に大きな声で気持ちを込めて音読をしている。
- ・本課で学習した文法や語彙・慣用表現を、コミュニケーションにおいて積極的に活用しようとしている。
- ・「学問」に関する語彙や慣用表現を自分で調べ、語彙力の拡充を図っている。
- ・本課の新出語彙・表現を繰り返し読んだり書いたりして、定着を図っている。
- ・本課の全文を10回以上音読している。
- ・ペアワークやグループワークに積極的に参加し、責任をもって自分の役割を果たしている。
- ・授業の振り返り（リフレクション）を行い、学習の成果と課題を明確にしている。
- ・PDCA（Plan-Do-Check-Action）サイクルを通して計画的に学習を進めている。
- ・疑問点を放置せず、先生に質問をしたり、学習書を活用したりして解決している。

略語: VN = Vocabulary Networking; CYC = Check Your Comprehension; BYR = Before You Read; MIY = Make It Yours; FS = Focused Sentences; EY = Express Yourself

CHAPTER 7 How Associative Memory Works: the Marvels of Priming (pp. 71-79) CAN-DO

リスト

1. 内容理解 (Content Construction)

- ・心理学の実験結果を紹介した文章を読み、プライミング効果とは何かを理解する。
- ・言動などが無意識に私たちの行動に影響を与えるという実験結果を読むことで、真理を求める態度を養う。

2. 言語リソース (Language Resources)

2.1 文法 (Grammar)

- ・仮定法過去
- ・仮定法過去完了

2.2 語彙 (Vocabulary)

- ・次の語彙をコミュニケーションにおいて使うことができる (発信語彙)。
名詞: breakthrough, measurement
動詞: purse
形容詞: bald
- ・上記の語彙に加え、次の語彙の意味を理解することができる (受容語彙)。
名詞: marvel, mechanism, exposure, multitude, collaborator, wrinkle, corridor, colleague, frown, distortion
動詞: prime, tally, scramble, fashion, reinforce, amuse, squeeze, starve, maim, instruct
形容詞: associative, measurable, reciprocal, coherent, habitual, regardless
副詞: temporarily, discreetly
- ・記憶に関連する語彙をネットワークとして整理し、意味を理解することができる。【VN】

2.3 慣用表現 (Formulas)

- ・次の慣用表現の意味を理解し、使うことができる。
in reverse, go ahead, purse one's lips

3. 5領域におけるタスク・ハンドリング (Task-Handling in Five Domains)

3.1 聞くこと (Listening Domain)

- ・本文中の語彙・慣用表現の用法や意味を十分理解し、正確に内容を聞き取ることができる。【本文】
- ・本文の内容に関する英文を聞き、必要な情報を適切に取捨選択・整理しながら解答することができる。【リスニングテスト (データ)】
- ・理解が難しい箇所を、文脈や背景知識を活用して推測し、メモを取ったりするなど、粘り強く聞くことができる。【リスニングの回数】

3.2 読むこと (Reading Domain)

- ・本課で扱う文法・語彙を理解・運用して読むことができる。【TF 問題・定期テスト (データ)】
- ・実験結果を紹介した文章を読み、プライミング効果とは何かを読み取ることができる。【CYC】
- ・理解が難しい箇所を文脈や背景知識を活用して積極的に推測するなど、粘り強く読むことができる。【音読の回数】

3.3 話すこと (発表) (Spoken Production Domain)

- ・本文の内容に関連した質問に、自分の意見を発表することができる。【BYR】
- ・自分の言葉で本文の内容を要約し、発表することができる。
- ・実験の結果について、自分の表現や身振りなどを使って粘り強く口頭で発表することができる。【MIY TASK2-STEP4】

3.4 話すこと (やり取り) (Spoken Production Domain)

- ・本課で扱う文法・語彙・慣用表現の用法や意味を理解し、ペアやグループでの口頭でのやり取りにおいて正確に用いることができる。
- ・3, 4人のグループで、プライミング効果を実証する実験を行うことができる。【MIY TASK2-STEP1,2,3】
- ・文法のポイントを的確に押さえ、自分の表現や身振りなどを使って相手に内容を十分伝えるなど、粘り強くやり取りすることができる。【FS】

3.5 書くこと (Writing Domain)

- ・EIJ Text 中の重要表現を書いて覚えることができる。
- ・記憶に関する語句を理解しながら、穴埋めを行うことができる。【VN】
- ・本文に関連する課題に対して、与えられた語句を用いながらパラグラフを書くことができる。【MIY TASK1】
- ・本文の一節や本文に関する質問について、繰り返し推敲をしながら粘り強く自分の意見を書くことができる。【EY】

4. 学習への向き合い方と学習管理 (Attitude & Learning Management)

- ・教師の発問に対して積極的に反応している。
- ・授業中に大きな声で気持ちを込めて音読をしている。
- ・本課で学習した文法や語彙・慣用表現を、コミュニケーションにおいて積極的に活用しようとしている。
- ・「記憶」に関する語彙や慣用表現を自分で調べ、語彙力の拡充を図っている。
- ・本課の新出語彙・表現を繰り返し読んだり書いたりして、定着を図っている。
- ・本課の全文を10回以上音読している。
- ・ペアワークやグループワークに積極的に参加し、責任をもって自分の役割を果たしている。
- ・授業の振り返り（リフレクション）を行い、学習の成果と課題を明確にしている。
- ・PDCA (Plan-Do-Check-Action) サイクルを通して計画的に学習を進めている。
- ・疑問点を放置せず、先生に質問をしたり、学習書を活用したりして解決している。

略語: VN = Vocabulary Networking; CYC = Check Your Comprehension; BYR = Before You Read; MIY = Make It Yours; FS = Focused Sentences; EY = Express Yourself

CHAPTER 8 What You Eat May Affect Your Environment (pp. 80-89) CAN-DO リスト

1. 内容理解 (Content Construction)

- ・食文化と地球環境の関係についての研究結果を聞いたり読んだりして情報を集める。
- ・肉の消費によって環境にどのような影響を与えるかという研究結果を知り、食と環境の関係について考えることができる。

2. 言語リソース (Language Resources)

2.1 文法 (Grammar)

- ・倍数や分数を使う比較

2.2 語彙 (Vocabulary)

- ・次の語彙の意味を理解することができる (受容語彙)。
名詞: emission, sector, pasture, regard, protein, subsidy, label, excreta, methane
動詞: assess, span, deforest, graze, convert
形容詞: dairy, vegan, potent
- ・食に関連する語彙をネットワークとして整理し、意味を理解することができる。【VN】

2.3 慣用表現 (Formulas)

- ・次の慣用表現の意味を理解し、使うことができる。
result in ..., out there

3. 5領域におけるタスク・ハンドリング (Task-Handling in Five Domains)

3.1 聞くこと (Listening Domain)

- ・本文およびリスニングパートの語彙・慣用表現の用法や意味を十分理解し、正確に内容を聞き取ることができる。【本文】
- ・本文の内容に関する英文を聞き、必要な情報を適切に取捨選択・整理しながら解答することができる。【リスニングテスト (データ)】
- ・理解が難しい箇所を、文脈や背景知識を活用して推測し、メモを取ったりするなど、粘り強く聞くことができる。【リスニングの回数】

3.2 読むこと (Reading Domain)

- ・本課で扱う文法・語彙を理解・運用して読むことができる。【TF 問題・定期テスト (データ)】
- ・食文化と地域環境の関係についての研究結果を読み取ることができる。【CYC】
- ・理解が難しい箇所を文脈や背景知識を活用して積極的に推測するなど、粘り強く読むことができる。【音読の回数】

3.3 話すこと (発表) (Spoken Production Domain)

- ・本文の内容に関連した質問に、自分の意見を発表することができる。【BYR】
- ・自分の言葉で本文の内容を要約し、発表することができる。
- ・テキストと録音から得られた驚くべき情報について、自分の表現や身振りなどを使って 1 分間スピーチとして口頭で発表することができる。【MIY TASK2-STEP4】

3.4 話すこと (やり取り) (Spoken Production Domain)

- ・本課で扱う文法・語彙・慣用表現の用法や意味を理解し、ペアやグループでの口頭でのやり取りにおいて正確に用いることができる。
- ・講義を聞いて書き留めたメモをグループのメンバーと比べ合う。【MIY TASK1】
- ・文法のポイントを的確に押さえ、自分の表現や身振りなどを使って相手に内容を十分伝えるなど、粘り強くやり取りすることができる。【FS】

3.5 書くこと (Writing Domain)

- ・EIJ Text 中の重要表現を書いて覚えることができる。
- ・食に関する語句を理解しながら、穴埋めを行うことができる。【VN】
- ・スピーチの構成と台本原稿を書く。【MIY TASK2-STEP1,2】
- ・本文の一節や本文に関する質問について、繰り返し推敲をしながら粘り強く自分の意見を書くことができる。【EY】

4. 学習への向き合い方と学習管理 (Attitude & Learning Management)

- ・教師の発問に対して積極的に反応している。
- ・授業中に大きな声で気持ちを込めて音読をしている。
- ・本課で学習した文法や語彙・慣用表現を、コミュニケーションにおいて積極的に活用しようとしている。

- ・「食」に関する語彙や慣用表現を自分で調べ、語彙力の拡充を図っている。
- ・本課の新出語彙・表現を繰り返し読んだり書いたりして、定着を図っている。
- ・本課の全文を10回以上音読している。
- ・ペアワークやグループワークに積極的に参加し、責任をもって自分の役割を果たしている。
- ・授業の振り返り（リフレクション）を行い、学習の成果と課題を明確にしている。
- ・PDCA（Plan-Do-Check-Action）サイクルを通して計画的に学習を進めている。
- ・疑問点を放置せず、先生に質問をしたり、学習書を活用したりして解決している。

略語: VN = Vocabulary Networking; CYC = Check Your Comprehension; BYR = Before You Read; MIY = Make It Yours; FS = Focused Sentences; EY = Express Yourself

CHAPTER 9 Mass Extinction: Why Are They Gone? (pp. 91-99) CAN-DO リスト

1. 内容理解 (Content Construction)

- ・絶滅危惧種の問題を取り上げた記事を読み、生物が絶滅するとはどういうことかを考える。
- ・動植物が絶滅することで生態系にどのような影響を与えるかを知ること、自然を大切に、環境の保全に寄与する態度を養う。

2. 言語リソース (Language Resources)

2.1 文法 (Grammar)

- ・分詞構文
- ・with + 名詞 + 分詞 (付帯状況)

2.2 語彙 (Vocabulary) A Forest on Caffeine? — How Coffee Can Help Forests Grow Faster

- ・次の語彙をコミュニケーションにおいて使うことができる (発信語彙)。
名詞: deadline, habitat
動詞: examine, trigger
- ・上記の語彙に加え、次の語彙の意味を理解することができる (受容語彙)。
名詞: pollination, pest, proceeding, brink, overlap, tropic, domino, conservationist, predator, herbivore, rhino, pollinator, underestimate, reservoir, bacterium, occurrence, pandemic, famine, halt, deforestation, reform, priority, profit, enterprise, initiative, framework
動詞: accelerate, exceed
形容詞: catastrophic, vertebrate, prior, terrestrial, geographic, aquatic, invertebrate, pressing consequential
副詞: formerly, critically
- ・絶滅に関連する語彙をネットワークとして整理し、意味を理解することができる。【VN】

2.3 慣用表現 (Formulas)

- ・次の慣用表現の意味を理解し、使うことができる。
on the brink of ..., turn to ..., take ... into account, make a difference, only after, wipe out ..., put priority on ...

3. 5領域におけるタスク・ハンドリング (Task-Handling in Five Domains)

3.1 聞くこと (Listening Domain)

- ・本文中の語彙・慣用表現の用法や意味を十分理解し、正確に内容を聞き取ることができる。【本文】
- ・本文の内容に関する英文を聞き、必要な情報を適切に取捨選択・整理しながら解答することができる。【リスニングテスト (データ)】
- ・理解が難しい箇所を、文脈や背景知識を活用して推測し、メモを取ったりするなど、粘り強く聞くことができる。【リスニングの回数】

3.2 読むこと (Reading Domain)

- ・本課で扱う文法・語彙を理解・運用して読むことができる。【TF 問題・定期テスト (データ)】
- ・絶滅危惧種の問題を取り上げた記事から、動植物が絶滅することで生態系にどのような影響を与えるかを読み取ることができる。【CYC】
- ・理解が難しい箇所を文脈や背景知識を活用して積極的に推測するなど、粘り強く読むことができる。【音読の回数】

3.3 話すこと (発表) (Spoken Production Domain)

- ・本文の内容に関連した質問に、自分の意見を発表することができる。【BYR】
- ・絶滅の危機に瀕している動物を救う方法を選び、自分の意見をパラグラフにまとめることができる。【MIY TASK2】
- ・自分の言葉で本文の内容を要約し、発表することができる。

3.4 話すこと (やり取り) (Spoken Production Domain)

- ・本課で扱う文法・語彙・慣用表現の用法や意味を理解し、ペアやグループでの口頭でのやり取りにおいて正確に用いることができる。
- ・絶滅の危機に瀕している動物を救う方法を選び、グループ内で意見交換をしてグループでの結論に到達することができる。【MIY TASK2】
- ・文法のポイントを的確に押さえ、自分の表現や身振りなどを使って相手に内容を十分伝えるなど、粘り強くやり取りすることができる。【FS】

3.5 書くこと (Writing Domain)

- ・ EIJ Text 中の重要表現を書いて覚えることができる。
- ・ 絶滅に関する語句を理解しながら、穴埋めを行うことができる。【VN】
- ・ 本文の一節や本文に関する質問について、繰り返し推敲をしながら粘り強く自分の意見を書くことができる。【EY】

4. 学習への向き合い方と学習管理 (Attitude & Learning Management)

- ・ 教師の発問に対して積極的に反応している。
- ・ 授業中に大きな声で気持ちを込めて音読をしている。
- ・ 本課で学習した文法や語彙・慣用表現を、コミュニケーションにおいて積極的に活用しようとしている。
- ・ 「絶滅」に関する語彙や慣用表現を自分で調べ、語彙力の拡充を図っている。
- ・ 本課の新出語彙・表現を繰り返し読んだり書いたりして、定着を図っている。
- ・ 本課の全文を 10 回以上音読している。
- ・ ペアワークやグループワークに積極的に参加し、責任をもって自分の役割を果たしている。
- ・ 授業の振り返り (リフレクション) を行い、学習の成果と課題を明確にしている。
- ・ PDCA (Plan-Do-Check-Action) サイクルを通して計画的に学習を進めている。
- ・ 疑問点を放置せず、先生に質問をしたり、学習書を活用したりして解決している。

略語: VN = Vocabulary Networking; CYC = Check Your Comprehension; BYR = Before You Read; MIY = Make It Yours; FS = Focused Sentences; EY = Express Yourself

CHAPTER 10 The Soul of Meiji (pp. 105-117) CAN-DO リスト

1. 内容理解 (Content Construction)

- ・明治時代の日本に滞在したモースの日記を読み、明治初頭の日本がモースにどう映ったかを知る。
- ・明治初期の日本のことをつづったモースの文章とスケッチを知ることにより、明治初頭の日本について思いを
はせ、我が国の伝統と文化を尊重する態度を養う。

2. 言語リソース (Language Resources)

2.1 文法 (Grammar)

- ・分詞構文
- ・仮定法過去完了

2.2 語彙 (Vocabulary)

- ・次の語彙をコミュニケーションにおいて使うことができる (発信語彙)。
名詞: priest
動詞: enrich, screw
形容詞: fascinating
- ・上記の語彙に加え、次の語彙の意味を理解することができる (受容語彙)。
名詞: crib, zoologist, archaeologist, archaeology, modernity, excerpt, cement, clog, troop, novelty, drainage,
fertilizer, ministry, courtesy, chore, copper, brocade, bolt, servant, thermometer
動詞: astonish, attribute, prolong, civilize
形容詞: anthropological, exotic, clumsy, frail, bareheaded, innate, bizarre
副詞: alongside, immensely, precisely, somewhat, meekly, handsomely
- ・理解に関連する語彙をネットワークとして整理し、意味を理解することができる。【VN】

2.3 慣用表現 (Formulas)

- ・次の慣用表現の意味を理解し、使うことができる。
pass down ..., set foot in ..., hardly [not] sleep a wink, line up, a troop of ...

3. 5領域におけるタスク・ハンドリング (Task-Handling in Five Domains)

3.1 聞くこと (Listening Domain)

- ・本文中の語彙・慣用表現の用法や意味を十分理解し、正確に内容を聞き取ることができる。【本文】
- ・本文の内容に関する英文を聞き、必要な情報を適切に取捨選択・整理しながら解答することができる。【リスニングテスト (データ)】
- ・理解が難しい箇所を、文脈や背景知識を活用して推測し、メモを取ったりするなど、粘り強く聞くことができる。【リスニングの回数】

3.2 読むこと (Reading Domain)

- ・本課で扱う文法・語彙を理解・運用して読むことができる。【TF 問題・定期テスト (データ)】
- ・明治時代の日本に滞在したモースの日記から、明治初頭の日本がモースにどう映ったかを読み取ることができる。【CYC】
- ・理解が難しい箇所を文脈や背景知識を活用して積極的に推測するなど、粘り強く読むことができる。【音読の回数】

3.3 話すこと (発表) (Spoken Production Domain)

- ・本文の内容に関連した質問に、自分の意見を発表することができる。【BYR】
- ・自分の言葉で本文の内容を要約し、発表することができる。
- ・日本のものを1つ選んで、自分の表現や身振りなどを使って粘り強く口頭で短く説明することができる。【MIY TASK2-STEP5】

3.4 話すこと (やり取り) (Spoken Production Domain)

- ・本課で扱う文法・語彙・慣用表現の用法や意味を理解し、ペアやグループでの口頭でのやり取りにおいて正確に用いることができる。
- ・日本のものについて海外からの訪問客に説明する際に、必要な情報は何かを、ペアで話し合うことができる。【MIY TASK2-STEP2】
- ・文法のポイントを的確に押さえ、自分の表現や身振りなどを使って相手に内容を十分伝えるなど、粘り強くやり取りすることができる。【FS】

3.5 書くこと (Writing Domain)

- ・EIJ Text 中の重要表現を書いて覚えることができる。
- ・理解に関する語句を理解しながら、穴埋めを行うことができる。【VN】

- ・自分が選んだ日本の物について説明する文章を、パラグラフを書くことができる。【MIY TASK2-STEP4】
- ・本文の一節や本文に関する質問について、繰り返し推敲をしながら粘り強く自分の意見を書くことができる。【EY】

4. 学習への向き合い方と学習管理 (Attitude & Learning Management)

- ・教師の発問に対して積極的に反応している。
- ・授業中に大きな声で気持ちを込めて音読をしている。
- ・本課で学習した文法や語彙・慣用表現を、コミュニケーションにおいて積極的に活用しようとしている。
- ・「理解」に関する語彙や慣用表現を自分で調べ、語彙力の拡充を図っている。
- ・本課の新出語彙・表現を繰り返し読んだり書いたりして、定着を図っている。
- ・本課の全文を10回以上音読している。
- ・ペアワークやグループワークに積極的に参加し、責任をもって自分の役割を果たしている。
- ・授業の振り返り（リフレクション）を行い、学習の成果と課題を明確にしている。
- ・PDCA (Plan-Do-Check-Action) サイクルを通して計画的に学習を進めている。
- ・疑問点を放置せず、先生に質問をしたり、学習書を活用したりして解決している。

略語: VN = Vocabulary Networking; CYC = Check Your Comprehension; BYR = Before You Read; MIY = Make It Yours; FS = Focused Sentences; EY = Express Yourself

CHAPTER 11 A Forest on Caffeine? — How Coffee Can Help Forests Grow Faster (pp. 119-127) CAN-DO リスト

1. 内容理解 (Content Construction)

- ・コーヒーが森林再生のカギとなるかもしれないという取り組みを読み、その仕組みを読み解く。
- ・これまで廃棄されていたコーヒーパルプによって、森林が再生されるという取り組みを知ること、環境の保全に寄与する態度を養う。

2. 言語リソース (Language Resources)

2.1 文法 (Grammar)

- ・ so ~ that ...
- ・ like night and day

2.2 語彙 (Vocabulary)

- ・ 次の語彙をコミュニケーションにおいて使うことができる (発信語彙)。
名詞: rainforest, stem, mess
動詞: trim
- ・ 上記の語彙に加え、次の語彙の意味を理解することができる (受容語彙)。
名詞: caffeine, pulp, leftover, peril, tract, livestock, plot, ratio, timeline, foliage, steroid, by-product, patch, peel, hectare, contamination, alga, pesticide
動詞: utilize, exploit, dominate, dispose, brew, smother, decompose, witness, fertilize, jump-start, disperse
形容詞: invasive, win-win, fertile, skeptical, marvelous, broadleaf, stinky, promising
副詞: intensively
- ・ 生態系に関連する語彙をネットワークとして整理し、意味を理解することができる。【VN】

2.3 慣用表現 (Formulas)

- ・ 次の慣用表現の意味を理解し、使うことができる。
in peril, dispose of ..., pile on ..., pin down ..., like night and day, take notice of ..., put ... to good use

3. 5領域におけるタスク・ハンドリング (Task-Handling in Five Domains)

3.1 聞くこと (Listening Domain)

- ・ 本文中の語彙・慣用表現の用法や意味を十分理解し、正確に内容を聞き取ることができる。【本文】
- ・ 本文の内容に関する英文を聞き、必要な情報を適切に取捨選択・整理しながら解答することができる。【リスニングテスト (データ)】
- ・ 理解が難しい箇所を、文脈や背景知識を活用して推測し、メモを取ったりするなど、粘り強く聞くことができる。【リスニングの回数】

3.2 読むこと (Reading Domain)

- ・ 本課で扱う文法・語彙を理解・運用して読むことができる。【TF 問題・定期テスト (データ)】
- ・ コーヒーが森林再生のカギとなるかもしれないという取り組みを読み、その仕組みを読み取ることができる。【CYC】
- ・ 理解が難しい箇所を文脈や背景知識を活用して積極的に推測するなど、粘り強く読むことができる。【音読の回数】

3.3 話すこと (発表) (Spoken Production Domain)

- ・ 本課の導入文を読んで、内容を推測して発表することができる。【BYR】
- ・ 自分の言葉で本文の内容を要約し、発表することができる。
- ・ パラグラフにまとめたものをもとに口頭で発表することができる。【MIY TASK2-STEP4】

3.4 話すこと (やり取り) (Spoken Production Domain)

- ・ 本課で扱う文法・語彙・慣用表現の用法や意味を理解し、ペアやグループでの口頭でのやり取りにおいて正確に用いることができる。
- ・ ゴミ問題を改善していくために書いたスローガンについてペアで話し合うことができる。【MIY TASK2-STEP2】
- ・ 文法のポイントを的確に押さえ、自分の表現や身振りなどを使って相手に内容を十分伝えるなど、粘り強くやり取りすることができる。【FS】

3.5 書くこと (Writing Domain)

- ・ EIJ Text 中の重要表現を書いて覚えることができる。
- ・ 生態系に関する語句を理解しながら、穴埋めを行うことができる。【VN】
- ・ コーヒーを造林に利用するプロジェクトのメンバーになったつもりで、ミーティングで説明するためのメモを

取ることができる。【MIY TASK1】

- ・ゴミ問題を改善していくためのスローガンを書くことができる。また、なぜそのメッセージが大切なのかをパラグラフで説明することができる。【MIY TASK2-STEP3】
- ・本文の一節や本文に関する質問について、繰り返し推敲をしながら粘り強く自分の意見を書くことができる。【EY】

4. 学習への向き合い方と学習管理 (Attitude & Learning Management)

- ・教師の発問に対して積極的に反応している。
- ・授業中に大きな声で気持ちを込めて音読をしている。
- ・本課で学習した文法や語彙・慣用表現を、コミュニケーションにおいて積極的に活用しようとしている。
- ・「生態系」に関する語彙や慣用表現を自分で調べ、語彙力の拡充を図っている。
- ・本課の新出語彙・表現を繰り返し読んだり書いたりして、定着を図っている。
- ・本課の全文を10回以上音読している。
- ・ペアワークやグループワークに積極的に参加し、責任をもって自分の役割を果たしている。
- ・授業の振り返り（リフレクション）を行い、学習の成果と課題を明確にしている。
- ・PDCA (Plan-Do-Check-Action) サイクルを通して計画的に学習を進めている。
- ・疑問点を放置せず、先生に質問をしたり、学習書を活用したりして解決している。

略語: VN = Vocabulary Networking; CYC = Check Your Comprehension; BYR = Before You Read; MIY = Make It Yours; FS = Focused Sentences; EY = Express Yourself

CHAPTER 12 Fahrenheit 451 (pp. 128-144) CAN-DO リスト

1. 内容理解 (Content Construction)

- ・1953年に書かれたSF小説を読み、物語の世界観を味わう。
- ・本を所持することが禁止された世界を想像しながら物語を読むことで、真理を求める態度を養い、豊かな情操と道徳心を培う。

2. 言語リソース (Language Resources)

2.1 語彙 (Vocabulary)

- ・次の語彙をコミュニケーションにおいて使うことができる (発信語彙)。
名詞: ruin, tank, suicide, garment
動詞: sparkle, tumble, enclose
形容詞: peculiar, insane
- ・上記の語彙に加え、次の語彙の意味を理解することができる (受容語彙)。
名詞: nozzle, fist, conductor, charcoal, firefly, marshmallow, porch, lawn, firehouse, slogan, numeral, boulevard, blur, parlor, billboard, dew, pedestrian, conscience, ritual, accusation, irritation, insanity, shovelful, idiot, fume, dignity, spectacle, snail, contempt, railing, plaster, flesh, litter, machinery, knob, lap, Lord, Christ, peppermint, worshipper, coward, Bible, torch, texture, dimension, claw
動詞: blacken, spit, pound, blaze, flick, stride, shove, flap, cork, stitch, shudder, snuff, glitter, tease, roar, plunge, bombard, flutter, waver, hung, hurl, gaze, numeral, pump, strap, kneel, drench, damn, conceal, spark, gasp, peer, vanish, divert, itch, sniff, perish, blast, spin, digest
形容詞: symbolic, fireproof, insulting, irritable, immense, upturned, dim, farsighted, slender, infinite, rootless
副詞: abruptly, stubbornly, unsteadily, intuitively, truthfully

2.2 慣用表現 (Formulas)

- ・次の慣用表現の意味を理解し、使うことができる。
bring down ..., take one's word for it, right off, be not cricket, go up, get shaken up

3. 5領域におけるタスク・ハンドリング (Task-Handling in Five Domains)

3.1 聞くこと (Listening Domain)

- ・本文中の語彙・慣用表現の用法や意味を十分理解し、正確に内容を聞き取ることができる。【本文】
- ・本文の内容に関する英文を聞き、必要な情報を適切に取捨選択・整理しながら解答することができる。【リスニングテスト (データ)】
- ・理解が難しい箇所を、文脈や背景知識を活用して推測し、メモを取ったりするなど、粘り強く聞くことができる。【リスニングの回数】

3.2 読むこと (Reading Domain)

- ・本課で扱う文法・語彙を理解・運用して読むことができる。【TF問題・定期テスト (データ)】
- ・1953年に書かれたSF小説を読み、物語の世界観を味わうことができる。【AYR】
- ・理解が難しい箇所を文脈や背景知識を活用して積極的に推測するなど、粘り強く読むことができる。【音読の回数】

3.3 話すこと (発表) (Spoken Production Domain)

- ・本文の内容に関連した質問に、自分の意見を発表することができる。【BYR】
- ・自分の言葉で本文の内容を要約し、発表することができる。
- ・本文に関連する質問について、グループディスカッションを行って導き出したグループでの解答を発表することができる。【AYR】

3.4 話すこと (やり取り) (Spoken Production Domain)

- ・本課で扱う文法・語彙・慣用表現の用法や意味を理解し、ペアやグループでの口頭でのやり取りにおいて正確に用いることができる。
- ・本文に関連する質問について、グループディスカッションを行い、グループでの解答を導き出すことができる。
- ・これまでに学んだ文法を用いて、自分の表現や身振りなどを使って相手に内容を十分伝えるなど、粘り強くやり取りすることができる。【AYR】

3.5 書くこと (Writing Domain)

- ・本文に関連する質問について、自分自身の答えを書くことができる。【AYR】

・本文に関連する質問について、グループディスカッションを行って導き出した結果をパラグラフにまとめることができる。【AYR】

・本文の内容を理解し、繰り返し推敲をしながら粘り強く物語の感想文を書くことができる。

4. 学習への向き合い方と学習管理 (Attitude & Learning Management)

- ・教師の発問に対して積極的に反応している。
- ・授業中に大きな声で気持ちを込めて音読をしている。
- ・本課で学習した文法や語彙・慣用表現を、コミュニケーションにおいて積極的に活用しようとしている。
- ・語彙や慣用表現を自分で調べ、語彙力の拡充を図っている。
- ・本課の新出語彙・表現を繰り返し読んだり書いたりして、定着を図っている。
- ・本課の全文を10回以上音読している。
- ・ペアワークやグループワークに積極的に参加し、責任をもって自分の役割を果たしている。
- ・授業の振り返り（リフレクション）を行い、学習の成果と課題を明確にしている。
- ・PDCA (Plan-Do-Check-Action) サイクルを通して計画的に学習を進めている。
- ・疑問点を放置せず、先生に質問をしたり、学習書を活用したりして解決している。

略語: BYR = Before You Read; AYR = After You Read